

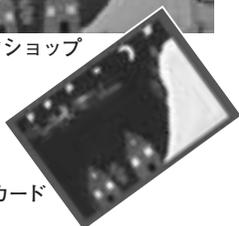
支援を必要とする人々のために

Smile Heart  Club

三井住友海上火災保険(株) 総務部
地球環境・社会貢献室 山ノ川実夏



クロアチアでのアートワークショップ



2008 - 2009 年版クリスマスカード

三井住友海上グループでは、グループ行動憲章に則り、地域社会・国際社会の一員として、その持続的発展に貢献するとともに、社員ならびに代理店の社会貢献活動を支援することを社会貢献活動方針に定め、1. 「会社」主体の社会貢献活動の推進 2. 「社員」「代理店」主体の社会貢献活動の支援をおこなっている。現在、「環境」「安全」「福祉」を重点テーマに取り組んでいる。

「スマイルハートクラブ」

当社では社員の社会貢献活動を支援するため、1993年に社員の社会貢献活動団体「スマイルハートクラブ」を設立した。趣旨に賛同する社員が毎月の給与の下2桁の端数を拠出し、会社がマッチングギフトを上乗せして全国のNPOへ助成するほか、社員のボランティア活動資金補助に活用し、さまざまな社会貢献活動をおこなっている。

社員の思いやりをかたちにする

設立当初からの活動として、チャリティーカードによる世界の子どもの支援活動がある。これは、「特定非営利活動法人 子供地球基金[※]」との協働でおこなっており、世界中から「子供地球基金」に寄せられる子どもの絵をクリスマスカードにして、会社で使用するカードとして各部署、また社員や社外に販売している。その収益金で世界の紛争・被災地域の子どもの支援するもので、最初の3年間は、チェルノブイリ原発事故で放射能の影響を受けた養護施設の子ども、その後はクロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、セルビアなど旧ユーゴスラビア地域で戦争により心にトラウマを持つ子どもを支援。さらにスマトラ沖地震やパキスタン地震の被災地域でも支援活動をおこなってきた。

これまでに実施した主な支援の内容は「子供地球基金」の持つノウハウを活かしたアートワークショップ活動で、心に傷を負った子どもたちが自由に絵を描くことで、沈んだ表情から明るい笑顔になり、子どもたちの家族や現地 NGO スタッフからも高く評価されている。2003年からは“KIDS Helping KIDS”——「子どもたちが子どもたち



パキスタンでのアートワークショップ



植林前の荒廃地



植林後、緑が回復

地域住民が育てます



を救う」をコンセプトに、アートワークショップで描かれた作品で翌年販売するチャリティークリスマスカードを作成している。支援される立場だった子どもたちが絵を描くことでほかの地域の子どもの助けられることが、子どもたちにとって大きな励みになっている。2008年はクロアチア、パキスタンの子どもが描いた絵がクリスマスカードや絵はがきになった。毎年、社内外から温かい協力を得て16年間に販売したカードの枚数は30万6376枚、代金から印刷費を差し引いた収益金の累計は3748万8592円に上る。今後も、子どもたちの純粋な気持ちから生まれるアートで支援の輪を広げていきたい。

インドネシア熱帯林再生プロジェクト

CSR活動の一環として、損害保険事業の使命である自然災害の防止・減少を図り、環境保全面で世界的な問題である熱帯林の減少問題を改善するために、2005年からインドネシア共和国において同国政府と共同で「熱帯林の再生をめざしたプロジェクト」をおこなっている。

荒廃地を再生し動植物を呼び戻す

世界遺産で有名な古都ジョグジャカルタの南東に位置する「パリヤン野生動物保護林」。不法伐採などで石灰岩が露出する荒廃地となった300haの土地に、予定していた在来樹種約30万本の植林が2007年3月完了した。

本プロジェクトの目的は、熱帯林を再生させ、かつて生息していた動植物を呼び戻すことであり、インドネシアのガジャマダ大学に鳥や昆虫な

ど生態系の回復状況の調査・研究を委託している。調査結果からすでに30種類の生物が戻ってきていることが判明、本プロジェクトが国連の「生物多様性条約」での自然再生の役割の一端を担えるものと考えている。さらに、地域経済に長期的に貢献することも地域社会への責任を果たすうえで重要ととらえ、植林をおこなう土地については地元住民に農地利用を認めている。そこで収穫されるピーナッツやキャッサバなどは住民の生計を支えている。なお、植林した30万本の中にはマンゴー、グアバなど果実のなる樹種もあり、今後住民の新たな収入源として期待されている。

また、植林地域には12校の小学校があり、当社インドネシア現地法人と定期的な交流を続けている。2006年に発生したジャワ島中部地震の際は、各小学校も大きな被害を受けたことから、運動靴や学用品の寄付をおこなった。その後も教科書を寄贈したり、社員が日本の文化を紹介したりと、継続的に訪問することで友好関係を強めている。現地の子どもたちを含め、地域住民の理解を得ながらともに進めている本プロジェクト。今後は植栽した木の生育の管理を中心に、2011年3月まで継続しておこなっていく。

※子供地球基金：1988年の創立以来、紛争や災害で肉親を失った子どもたちへ物心両面で支援するNPO法人。これまでに、ベトナムやカンボジアなどで経済的支援や絵本、画材、衣料品などの寄付活動をおこなう一方、心に傷を負った子どもを「絵を描くこと」で励まし、美しい地球を守っていく大切さを発信し続けている。
<http://www.kidsearthfund.org/>

◆三井住友海上グループの社会貢献活動

<http://www.msig.com/csr/social/index.html>